

※今後、ワクチン接種、感染防止対策等を行う飲食店・宿泊施設等認証施設が拡充される事を見込み、開催準備を進める
実施するにあたり、直前の新型コロナウイルスの感染状況を見極め、規模の縮小・オンライン開催等も検討

【開催趣旨】

- 奈良ならではの魅力を守りながら、新たなニーズや技術を取り入れたコンテンツを実施することで、新たな冬の賑わいの場を創出し、四季を通じて魅力を堪能できる奈良を実現する
- 感染症対策を徹底し、三密を作らないwithコロナ時代の新しいモデルとなるイベントを開催

【実施概要（案）】

イベント名： 「大立山まつり2022 奈良ちとせ祝ぐ寿ぐまつり」
 開催時期： 令和4年1月22日（土）～1月23日（日） 11:00～18:00（両日とも）
 開催場所： 奈良県コンベンションセンター、平城宮跡歴史公園
 開催内容：

〈ポイント〉

- ・ **感染拡大防止対策の徹底**（三密回避、入場規制、手指消毒、体温チェック、接触確認アプリの利用等）
- ・ **withコロナ時代**にニーズが高まると予想される、「**バーチャル**」技術を駆使し、奈良の魅力を発信
- ・ まつりの **核となっているコンテンツ**（大立山・伝統芸能・各地の紹介）は**変えずに実施**
- ・ 古代から現代へと続く**奈良のヒト、モノ、コトのコンテンツ**を集め、奈良の魅力を発信



〈コンテンツ内容案〉 ※一度に来場者が集中しないように各コンテンツの開演時間を工夫し、動線の管理も徹底する

テーマ	内容	留意点
(1) まつりの象徴	① 大立山（四天王）の展示	
	② 各地域の立山の展示	
(2) 奈良に続く伝統と文化	③ 県内各市町村の 伝統行催事 等の披露	伝統行催事の出演者・観覧者の 人数制限・距離確保 （コロナ感染症の影響で中止になった行催事等を中心に披露）
	④ 奈良の食文化やガストロノミー・ツーリズム等テーマにした シンポジウム	事前予約制 にし、参加人数を調整 座席を離し、定員を通常の半分程度に設定
	⑤ 奈良の歴史や文化等の体験・展示企画	
(3) 今の奈良の魅力	⑥ 地域のおいしい グルメ や 特産品 の販売	飲食物は 感染症対策を徹底し 、 県内自治体より出店者を募集 店舗数・スタッフ数を制限 して実施 飲食テントは 対面にならない よう工夫
	⑦ 奈良に関するワークショップやトークセッション	事前予約制 にし、参加人数を制限 短時間で実施できるコンテンツを実施
	⑧ バーチャル 等で奈良を体感できるコンテンツ	三密を回避 した今後のモデルとなるようなコンテンツを実施
	⑨ 平城宮跡歴史公園と連携した周遊イベント	混雑緩和 のため平城宮跡へも周遊できるようにする

【実施内容 レイアウト案】

【開場全体の主な感染症対策】

手指の消毒、マスクの着用、距離確保 等



コンベンションホール

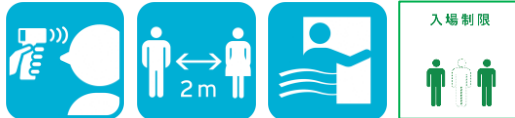
バーチャルエリア

- 最新のバーチャル技術を活用して奈良の魅力を感じ



【主な感染症対策】

- 入場時の体温チェック
- 人数制限
- 距離確保
- 換気徹底



コンベンションホール

出店エリア

- 地域産品や伝統工芸等の販売
- 地域のおいしいグルメの販売

天平広場

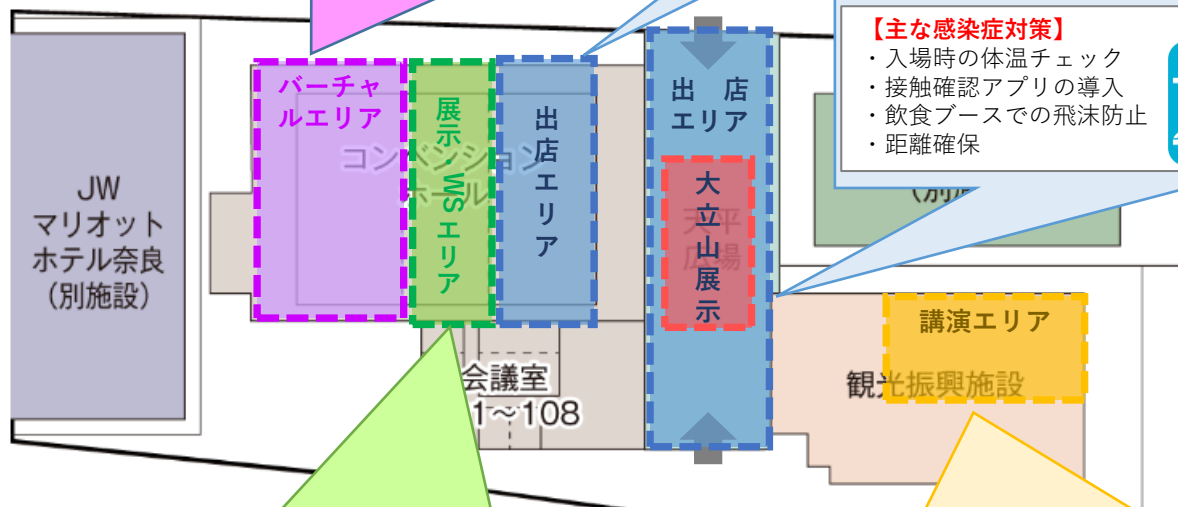
出店・大立山展示エリア

- まつりの象徴である大立山の展示
- 地域のおいしいグルメの販売



【主な感染症対策】

- 入場時の体温チェック
- 接触確認アプリの導入
- 飲食ブースでの飛沫防止
- 距離確保



コンベンションホール ホワイト

展示・ワークショップエリア

- 謂われや歴史などを分かりやすく説明した立山の展示
- 奈良らしいワークショップの開催



【主な感染症対策】

- 机・道具等の消毒徹底
- 短時間の実施
- 距離確保、換気徹底



天平ホール

シンポジウム・伝統行事エリア

- 著名人をゲストに、奈良の文化・歴史・伝統行事をテーマにしたシンポジウムの開催
- まつりの核の一つである伝統行事の披露
- 現在奈良で活躍している方をゲストに様々なテーマのトークセッションを開催



【主な感染症対策】

- 入場時の体温チェック
- 事前申込制
- 距離確保、換気徹底

